

中国中古の学術と社会

こ
が
ち
り
ゆ
う
い
ち

古勝隆一「著」(京都大学人文科学研究所教授)

A5判・上製・四〇六頁・本体五、〇〇〇円＋税



三ノ八世紀、中国中古時期は治乱興亡の時代環境を背景に学術が展開した時代であった。儒仏道・目録学・注釈学・国家権力・地域性に着目して、中古時期の思想・学術の諸問題を論じ、複雑多様な知のダイナミズムを分析する。

2021年12月刊行

序論

上篇 儒道注釈と学術史

- 第一章 注釈と書物
- 第二章 魏晋期の儒教
- 第三章 魏晋『莊子』注釈史における郭象の位置
- 第四章 隋代儒教の地域性——特に山東儒者について
- 第五章 『隋書』経籍志史部と『史通』雑述篇
- 第六章 『論語』と日本——集解・義疏の伝承を中心として

次 下篇 儒仏道と中古社会

- 第七章 礼体系の継承と変容——性差の観点から
- 第八章 魏晋時代の皇帝権力と死刑——西晋末における誅殺を例として
- 第九章 血盟と師授——『抱朴子』内篇を中心として
- 第十章 礼から法へ——北魏における礼の法制化について
- 第十一章 衰世の菩薩戒弟子皇帝——南朝陳における王権と仏教
- 第十二章 隋朝における一切経書写の意義——「宝台経蔵」をめぐる
- 第十三章 武則天「升仙太子碑」立碑の背景

あとがき
所拠文献一覧
索引

【著者略歴】1970年生まれ、福岡県出身。東京大学文学部中国哲学科卒業、同大学院人文社会科学研究所博士課程修了。博士(文学、東京大学)。京都大学人文科学研究所助手、千葉大学文学部助教授、京都大学人文科学研究所准教授を経て、現在、京都大学人文科学研究所教授。専攻は中国古典学。

著書に、『中国中古の学術』(研文出版)、『目録学の誕生——劉向が生んだ書物文化』(京大文研東方学叢書、臨川書店)、『漢唐注疏写本研究』(中国語、社会科学文献出版社)、訳書に、余嘉錫『古書通例——中国文献学入門』、同『目録学発微——中国文献分類法』(いずれも共訳、平凡社、東洋文庫)、井筒俊彦『老子道德経』(慶應義塾大学出版会)などがある。

注文書	
(書店名)	
様冊	ご担当
法藏館	古勝隆一著
五、〇〇〇円＋税	中国中古の学術と社会
ご住所	ISBN978-4-8318-7752-9 C3022
お名前	お電話

ご注文は FAX:075-371-0458

法藏館

〒600-8153 京都市下京区正面通烏丸東入
TEL 075-343-0458 FAX 075-371-0458
http://www.hozokan.co.jp info@hozokan.co.jp

中国史・思想